

## 競技・審判上の注意事項

1. 競技は2023年版（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則によって行います。但しネットの高さは男子2.35m、女子2.15mとします。また、競技はすべて3セットマッチでおこないます。
2. 選手追加・チーム役員の変更は、監督会議終了後30分以内に監督会議会場にて所定の用紙を提出してください。プログラムの誤字も同様をお願いします。
3. プログラムに設定された時刻は、試合開始の時刻です。
4. 前の競技終了後直ちに公式プロトコールに入りますので、該当チームは待機しててください。プロトコール終了時にチームが試合をできない場合は棄権となり負けになります。
5. 棄権チームがあった場合には競技を繰り上げておこないます。また、進行上、コートの変更がある場合もあります。同一チームの競技が連続する場合には、20分以内の休憩を設定します。
6. 監督・コーチ・マネージャーは、監督章・コーチ章・マネージャー章を左胸部につけます。監督の服装については清楚に心がけ、監督に準じてください。（統一されたものを着用）
7. ベンチに入れるのは、監督・コーチ・マネージャーと、選手14名までです。選手が13名もしくは14名の場合にはリベロを2名指名してください。ただし、選手が12名以内の場合、リベロは0～2名となります。ベンチには危険なものの持ち込みを禁止します。（ガラスの瓶など）
8. 選手のジャージ・パンツとソックスはチームで統一され、清潔で同一色のもので、競技規則に定められた選手番号（1～18の一連の数字が望ましい）をつけます。なお、ユニフォームは、明らかに色の異なった2着をできる限り用意してください。選手のシューズについてもできる限り色を統一してください。
9. ユニフォームには必ず学校名を表記し、選手の個人名が入っていないものを着用してください。パワーパンツは禁止します。
10. トスは、前の競技終了後、レフェリーの立ち会いのもと、チームキャプテンがスコアラーズテーブル前で行います。トス終了後、直ちに公式練習に入ります。公式練習終了後、選手は全員エンドラインに並び、挨拶・握手をした後に、全員自チームのベンチに戻ります。

11. セット開始時には、選手はエンドラインに整列せず、ベンチより直接コートに入ります。セット終了後は6人のプレーヤーは一度エンドラインに整列し、ファーストレフェリーの合図に従ってチェンジコートし、支柱を越えたら直接自分のベンチに戻ります。
12. 3セット目、どちらかのチームが13点に達したとき、コート上のプレーヤーはエンドラインに整列してから、ファーストレフェリーの合図に従って向かって右側の支柱の外側を通り、コートを交換します。
13. 公式練習は、最初のサーブ権を得たチームから3分間ずつおこないます。なお、合同で6分間の練習をおこなうときはファーストレフェリーに伝えてください。公式練習にはエントリーされたメンバー以外は参加できません。
14. 競技中は常にフェアプレーに徹してください。軽度の不法な行為にはチームに警告を与えますが、不作法な行為・侮辱的な行為・暴力的な行為をした場合は、その程度により『反則』・『退場』・『失格』の罰則が科せられることがあります。
15. 競技中のタイムアウトは、監督・ゲームキャプテンのみが公式ハンドシグナルを示すことによって要求することができます。選手交代の要求をおこなうときは、監督・ゲームキャプテンのハンドシグナルを示さずに、交代する選手は速やかにサブスティテューションゾーンで待機します。また、コート内の選手も手をあげ、番号をスコアラーに明示し、セカンドレフェリーの指示をもって交代します。
16. 競技中は、コート外の選手はベンチに座っているか、ウォームアップエリア内にいなければいけません。ウォームアップエリア内では、ボールを使用したウォームアップはできません。
17. 競技は1つのボールでおこないます。ラリーが完了し相手チームのサービスとなったときには、速やかに相手コートに転がして返球します。また、コート外のボールは選手が取りに行きます。
18. 競技中に汗などで床が濡れたときは、コート上の選手が速やかにタオルで拭きます。このとき、選手同士が集まって話をしたりしてはいけません。床ふき用タオルはチームで用意してください。タイムアウトのときやセット間にはチームでモップをかけてください。
19. 監督制限ラインはありません。監督は試合を妨げない、または試合を遅らせない限り、アタックラインの延長線からウォームアップエリアまでの自チームベンチ前のフリーゾーン内で立ちながらも歩きながらも指示を出すことができます。